

高森町商工会では、5S・プロジェクトチャレンジ事業の他 会員が元気な企業になっていただくために、 次のような特徴ある支援事業を行っています。

経営計画策定・実施についての伴走型支援事業

将来、自分の会社をどういう会社になりたいか、どのくらい利益を出せる会社になりたいか等5年後、10年後の自社の経営計画をしっかり立てた上で企業のかじ取りをすることが、これからの企業経営に求められています。

数多くの企業の経営計画策定支援の経験を持つ専門家が、伴走型で、個別に、経営計画の策定、実施、検証、見直し(PDCA)まで、継続して支援します。

また、経営計画どおりの売上・利益を確保するために欠かせない、販路開拓や顧客獲得のための個社支援も、商工会が関係機関と連携して行います。

事業承継支援事業（「事業存続相談支援センター」の支援）

会員事業所が円滑に事業承継が図られるように、事業存続相談支援センターを組織し、高森町・長野県事業引継ぎ支援センター・飯田商工会議所・八十二銀行市田支店・飯田信用金庫高森支店・長野県商工会連合会・高森町商工会が連携して事業承継支援に取り組んでいます。

全会員を対象にした事業承継に関するアンケート調査で、後継者を選定中か後継者はいないと回答した方や、事業を存続させたいと考えているが後継者が決まっていないと回答した方を巡回して聴き取りし、事業存続相談支援センターにつなげて支援を行っています。

また、自分の代限りで事業を閉じる方が経営資源(土地・建物・設備・取り引き先等)を第3者に譲渡しても良い場合はデータベース化して活用します。

アントレプレナー（起業者）支援事業

高森町と高森町商工会が連携して、平成27年度から国の産業競争力強化法に基づく市区町村の認定創業支援事業として取り組んでいます。令和3年度までに43人の起業希望者に対してアントレプレナー支援を実施し、その結果28人が開業しました。

具体的な支援の方法は、起業者の起業の熱い思いを経営ビジョンという形で明文化し、それを実践・実現するためのミッションの策定と戦略マップを完成させ、それに基づいて計画・損益計画の策定、融資が必要な場合は融資実行の手続きや開業準備支援を行うほか、開業後も数年にわたってアフターフォローしています。

販路開拓・経営力向上のための補助金活用支援

チラシ印刷や看板設置、ホームページ制作など、販路開拓に要する経費の3分の2を補助してくれる(上限50万円)「小規模事業者持続化補助金」や生産性向上に資する革新的サービスの開発や試作品開発、生産プロセスの改善を行うための設備投資等(機械・装置・工具・器具等の購入資金)の2分の1、または3分の2を補助してくれる(上限は中小企業1,000万円、小規模事業者500万円)「(通称)ものづくり補助金」など、会員事業所が販路開拓や経営力向上に活かすことができる各種補助金の申請手続きを伴走型で支援します。

高森町商工会

高森町下市田2971-7 ☎(0265)35-2254 FAX(0265)35-8132 E-mail : tsci@takamori-sci.com

小規模事業者のみなさまへ…5S・プロジェクトチャレンジ事業のご案内

ヤレバ デキル

「社会は変わる」—私たちは今回のコロナウイルス禍を通し、このことを目の前の現実として経験しました。そして私たち事業者も「変わる」ことが求められています。

従来の延長ではない新たな視点で経営現場を見直し、付加価値生産性(儲ける力)の高い経営に変えていかなければなりません。

外的要因に左右されにくい経営体質を培い、持続発展する事業者への変容です。

高森町商工会の「5S・プロジェクトチャレンジ事業」は、この付加価値生産性を高める経営支援です。経営者が「決意」をもって取り組めば、必ず「変わる」ことができます。

トレーナー紹介 当事業では指導に当たる専門家を、現場での実践指導の意から「トレーナー」と呼んでいます。各トレーナーは豊富な経験と専門性に裏打ちされた、その道のプロフェッショナルです。現在は4名のエキスパートが現場ニーズに応じ指導に当たっています。



坂下 次也
【指導分野】製造工場の経営改善
【資格等】トヨタ生産方式改善トレーナー
【キャリア】横河プレジジョン代表取締役／横河電機NYPSS推進部長／(株)MIP契約コンサルタント／飯田市在住
【指導方針】3現(現場、現物、現状)・2原(原理、原則)に基づいた現場指導。現場(工場内のすべて)を見て聞いて把握し、診断→指摘→治療→維持改善指導。



平澤 勝俊
【指導分野】製造工場の経営改善
【資格等】トヨタ生産方式改善トレーナー
【キャリア】元スタンレー伊那製作所社員／スタンレー電気(株)の国内外の工場の現場改善を指導／高森町在住
【指導方針】常に改善意識をもち、諦めず、こだわりをもち「とことん」改善。諦めなければ、必ずそこに答えは現れる。改善は「苦」ではなく「楽」と思えるようにしていきたい。



深谷 充彦
【指導分野】生産管理・中堅幹部の意識改革・マーケティング・現場改善・経営ビジョンづくり経営支援・企業再生
【資格等】モノづくり・IE・VA経営コンサルタント、信州ものづくりインストラクター(No.001)
【キャリア】チノン、チノンテック役員を歴任／PHPコンサルタント養成塾・信州ものづくり革新スクール修了／これまで県内外・海外企業30社程の現場改善、企業再生等を支援／諏訪市在住
【指導方針】自分の経験・体験・ノウハウ使ったオリジナルティで会社を、見・視・診・看・観・察、の分析。



近藤 義人
【指導分野】会社のトータルコーディネーター
【資格等】無し
【キャリア】地元愛知県県の公立高校(普通科)を卒業して、製菓業(現場、生産管理部門)で30年余りサラリーマンとして働く。税理士事務所経験有/愛知県在住
【指導方針】現場を重視した腑に落ちるオリジナルのメソッドを使い、経営者、従業員他社に携わる人達が自分で考えて行動出来るよう堅苦しくなく判り易いをモットーに指導させていただきます。

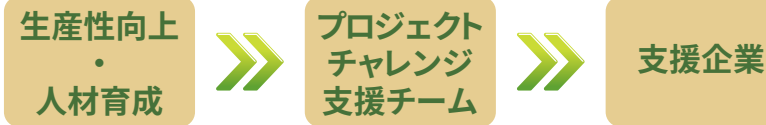
5S・プロジェクトチャレンジ事業を通して 持続発展可能な地域社会を目指します

みんなが住みたいと思える魅力的な地域に!



5S・プロジェクトチャレンジ事業とは

この事業は企業と商工会、どちらにとっても挑戦(チャレンジ)の活動



中小企業の儲ける力を高め、カイゼン活動を通じて人材を育成し、地域を元気にすることが目的。

事業の特色

従来の専門家派遣では、企業側が「指定した課題解決」を目的としていた。



5S・プロジェクトチャレンジ事業では、課題の先にある「企業の経営カイゼン」を目的とし、トレーナーと共に中長期的な伴走型の支援を行う。



支援方法

- ① 経営者・従業員から悩みを引き出し、現場の「アタリマエ」(ムダ・課題)を改善点とし、解決方法の提案や指導を行う。
- ② 月1~2回のペースで以下のサイクルにて指導を実施。

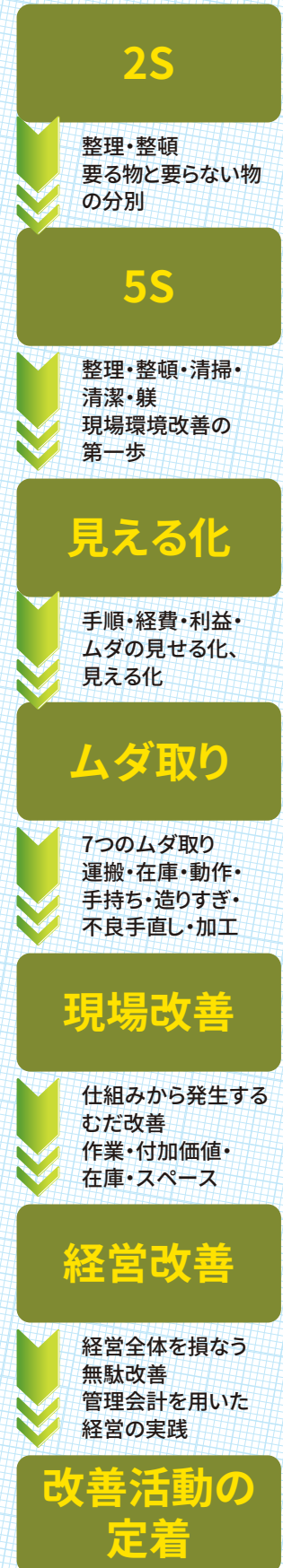


現場全体のカイゼンを伴走型で支援し、自主的改善へ繋げていく。

現場に潜む7つのムダ



5S・プロジェクトチャレンジ活動改善のステップ



当活動の最終目標
トレーナーの指導から離れ、自主改善の定着を目指す

指導効果[実際に指導を受けた企業より]

職場環境整備により生産性向上。
新規ソフト導入のきっかけにも繋がった。

倉庫内の整理や表示方法の改善、
スケジュールの見える化。

在庫低減、商品回転率の向上、
業務の見える化(業務進捗・内容管理)。

全て税理士任せだった数字について、
傾向を気にするようになった他、
計画の立案や書類の必要・不要の
判断が出来るようになった。

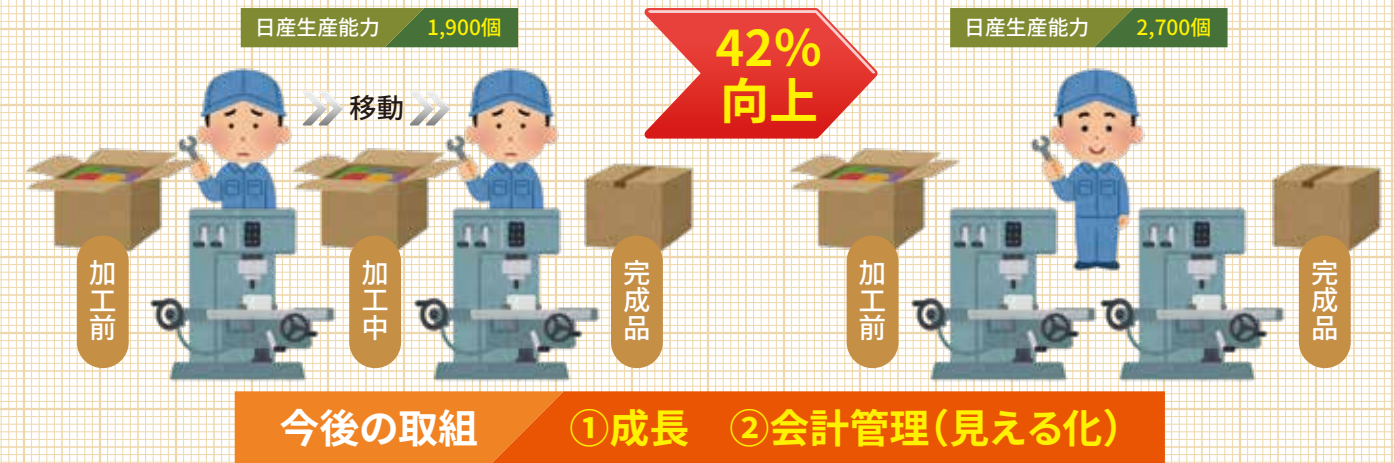
アンケート調査にて約70%の企業が希望通りの指導が受けられたと回答



事例紹介

某製造業者 (家族経営)

課題：父から引き継いだ会社をさらに成長させたい
取組：営業展開・生産能力の改善・計数管理
経過：1年6カ月
成果：①新規取引先1社の確保
②加工システムの改善(多工程システムの導入)



今後の取組 ①成長 ②会計管理(見える化)